

令和4年度当初予算知事審査における主要な議論

(保健医療部)

感染症専門人材育成事業 (B10)

- 知事 研修修了生が身に付けるスキルについて、感染管理認定看護師との違いをどのように考えているのか。
- 担当部局 感染管理認定看護師のレベルには至らないものの、本研修では、特に感染管理の実践に特化した内容にしたいと考えている。感染管理認定看護師の数は少ないため、感染症に関する専門的な知見を持った人材を育成する必要性は高い。

新型コロナウイルス感染症対策事業費 (B13)

- 知事 感染者数や入院患者数等の想定は、どのような考え方に基づくものなのか。
- 担当部局 第5波などのこれまでの実績とオミクロン株に対する想定をベースに見込んだものである。
- 知事 新型コロナウイルス感染症対策事業費の救急等医療提供体制確保事業はどのような考えで構築したのか。
- 担当部局 新型コロナウイルス感染症患者を受け入れながら救急等の医療提供体制を確保する医療機関に対して、医療従事者の処遇改善等のための費用を助成するものである。救急等の部門において、コロナ対応に割かれた医療従事者の人件費相当額を踏まえ予算額を積算している。

新型コロナウイルスワクチン接種事業費（B14）

- 知 事 ワクチン接種事業の全体像はどのような考え方に基づくものか。
- 担当部局 副反応等の相談窓口の設置や正確な情報の周知、接種医療機関への支援を引き続き継続する。さらに、追加接種を加速するため、県の接種センターを令和4年3月の2か所から4か所に拡充する。今後設置する接種センターについては、現役世代を中心に接種することから、ターミナル駅に近い交通の便のよい場所としたいと考えている。

健康長寿埼玉プロジェクト推進事業費（次期健康増進事業の在り方検討事業）(B88)

- 知 事 民間企業に効果検証業務を委託する狙いは何か。
- 担当部局 効果検証については、次期健康増進事業の在り方の検討や、新たな健康づくり施策の提案も含めて実施する予定であることから、シンクタンクとして知見や実績のある民間企業を活用したいと考えている。
- 知 事 次期健康増進事業の在り方を検討する上で、効果検証を基に議論をしていかなければならない。しっかりと効果検証を実施してほしい。
- 担当部局 了解した。

令和 4年度予算見積調書

課室名：感染症対策課
 担当名：感染症・新型インフルエンザ対策
 内線：3563 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B10	感染症専門人材育成事業			一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	感染症予防費		
事業期間	令和4年度～ 令和5年度	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	3	
						分野施策	0104 感染症対策の強化	SDGsターゲット	3-3	
<p>1 事業概要</p> <p>新型コロナウイルス感染症のパンデミックを受け、多くの医療機関等においてクラスターが発生した。医療機関等におけるリーダーとなる感染症専門人材の不足があり、効果的な感染症対策がとれなかったことが発生の原因の一つと考えられる。</p> <p>このため、新型コロナウイルスや既存の感染症だけではなく、将来の未知の感染症発生時も初期段階で対応でき、院内でリーダーとなる感染症専門人材を育成する。</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 感染症専門研修の実施 30,529千円 県内の病院や有床診療所に勤務する医療従事者を対象に、各施設における感染症対策を専門として活躍できる人材を育成する。</p> <p>(2) 事業計画 ①座学 (VOD※)：感染症や感染管理に係る理論、施設での感染管理についてなど ※VOD = ビデオ・オン・デマンドの限定公開 ②演習：集合型で実施 ③実習：実際の臨床現場で実施 (受講者数) 令和4年度：343人 (病院) 令和5年度：199人 (有床診療所) 計542人</p> <p>(3) 事業効果 研修修了者を中心に、地域の認定看護師など専門家とのネットワークを構築し、情報交換等ができる体制を整える。 また、平時だけでなく将来の未知の感染症発生時においても、院内における感染症への対策を講じることができ、その発生を抑制することが可能となる。</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)</p>										
<p>3 地方財政措置の状況 普通交付税 (款) 衛生費 (細目) 感染症等対策費 (細節) 感染症等対策費</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円</p>										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金	繰入金							
決定額	30,529	15,264	15,265						0	30,529
前年額	0								0	

令和 4年度予算見積調書

課室名：感染症対策課
 担当名：総務・物資調達担当
 内線：3589

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B13	新型コロナウイルス感染症対策事業費		一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	新型コロナウイルス感染症対策事業費		
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		針路	90 生活の安心を高める	SDGsゴール	3	
					分野施策	900519 感染症対策の強化	SDGsターゲット	3-1, 3-2, 3-3, 3-4	
1 事業概要			5 事業説明						
新型コロナウイルス感染症への県民の不安解消を図るとともに、感染症拡大防止対策の強化を図るため、緊急に対応すべき対策を実施する。 (1) 県民相談体制強化事業 1,436,879千円 (2) 検査・医療体制の強化 127,411,557千円 (3) 感染者フォローアップ体制の整備 2,318,303千円 (4) 軽症者等の療養体制の確保 28,331,846千円 (5) クラスター対策 76,661千円 (6) 市町村交付金事業 613,000千円 (7) 扶助費 10,328,253千円			(1) 事業内容 ア 県民相談体制強化事業 1,436,879千円 イ 検査・医療体制の強化 127,411,557千円 ウ 感染者フォローアップ体制の整備 2,318,303千円 エ 軽症者等の療養体制の確保 28,331,846千円 オ クラスター対策 76,661千円 カ 市町村交付金事業 613,000千円 キ 扶助費 10,328,253千円 (2) 事業計画 ア 県民相談体制強化事業 (ア) 新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター (イ) 受診相談センター (ウ) LINEお知らせシステム イ 検査・医療体制の強化 (ア) 感染症検査体制の整備 (イ) 医療機関受診体制の整備 (ウ) 入院医療機関の設備整備 (エ) 入院医療機関の体制支援 (オ) 診療を継続する医療機関への支援 (カ) 調整本部の機能強化 (キ) 酸素療法、中和抗体療法 (ク) 酸素ステーション (ケ) 検査無料化事業 (コ) 救急等医療提供体制確保事業 ウ 感染者フォローアップ体制の整備 エ 軽症者等の療養体制の確保 (ア) 軽症者の宿泊療養体制の確保 (イ) 自宅療養体制強化 オ クラスター対策 (ア) COVMA Tの設置 (イ) eMA Tの設置 カ 市町村事業への補助 キ 扶助費 (3) 事業効果 新型コロナウイルス感染症に係る検査・医療体制の構築及び県民の不安の解消						
2 事業主体及び負担区分									
(1) (3) (4) (5) (6) (国10/10・県0) (2) (国10/10・県0)、(国1/2・県1/2) (7) (国3/4・県1/4)、(国1/2・県1/2) ※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(単独)									
3 地方財政措置の状況									
普通交付税 (款) 衛生費(細目) 感染症等対策費 (細節) 感染症等対策費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×57.0人=541,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金	繰入金						
決定額	170,516,499	159,185,371	11,331,128					0	70,816,128
前年額	99,700,371	96,750,369	2,950,002					0	

令和 4年度予算見積調書

課室名：感染症対策課
 担当名：感染症・新型インフルエンザ担当
 内線：8373 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B14	新型コロナウイルスワクチン接種事業費			一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	予防接種法			針路	90 生活の安心を高める	SDGsゴール	
						分野施策	900519 感染症対策の強化	SDGsターゲット	
1 事業概要 新型コロナウイルスワクチンの予防接種について、遅滞なく接種を行うための体制を整備する。 (1) 副反応等の相談窓口の運営・正確な情報の周知 283,063千円 (2) 接種医療機関等への支援 6,996,780千円 (3) 埼玉県ワクチン接種センターの運営 2,690,422千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 副反応等の相談窓口の運営・正確な情報の周知 283,063千円 ・24時間対応の電話相談窓口を設置し、看護師等が副反応等の相談に対応する。 ・麻痺やしびれ症状などが慢性化した場合など、かかりつけ医等で対応が難しい場合に、専門医療機関につなぐ体制を確保する。 ・ワクチンに係る正確な情報等を広く周知する。 イ 接種医療機関等への支援 6,996,780千円 ・個別接種を行う医療機関に対し財政支援を行う。 ・時間外・休日に、医療機関が市町村の集団接種会場に医師・看護師等を派遣した場合に、派遣元の人件費相当額を支援する。【市町村補助】 ・中小企業や大学等が行う職域接種のうち、条件を満たした場合に会場設置経費を支援する。 ウ 埼玉県ワクチン接種センターの運営 2,690,422千円 ・市町村での接種の補完のため、県の接種会場を4か所に設置する。 (2) 事業計画 ア 専門相談窓口の設置 ・専門相談窓口及び専門医療機関の設置：4月から9月末まで ・広報経費等：テレビ・ラジオCM作成、放送経費・新聞紙面広告（7紙）、チラシ・ポスター作製・配布経費、チラシ・ポスター作製・発送経費、その他9月末までに必要な事務経費 イ 接種医療機関等への支援 ・事業実施期間：4月から7月末まで ウ 埼玉県ワクチン接種センターの運営 ・接種会場の運営（県内4か所 浦和、越谷、川越、熊谷）：4月から7月末まで (3) 事業効果 遅滞なく新型コロナウイルスワクチンの接種ができる体制が確保できる。					
2 事業主体及び負担区分 (国10/10・県0)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×31人=294,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金	諸収入						
決定額	9,970,265	9,139,889	830,376					0	9,635,221
前年額	335,044	335,044						0	

令和 4年度予算見積調書

課室名：健康長寿課
 担当名：健康長寿担当
 内線：3573

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B88	健康長寿埼玉プロジェクト推進事業 (次期健康増進事業の在り方検討事業)		一般会計	衛生費	公衆衛生費	公衆衛生総務費	健康長寿埼玉推進事業費	
事業期間	令和4年度～	根拠法令	健康増進法第3条、第25条 ほか		針路	06 人生100年を見据えたシニア活躍の推進	SDGsゴール	3
					分野施策	0601 生涯を通じた健康の確保	SDGsターゲット	3-1, 3-2, 3-3, 3-4
1 事業の概要 コバトン健康マイレージ事業の効果を測定するため、レセプトデータ、特定健診データ及び参加者データ（歩数等）などを活用し、医療費や健診検査値の変化、参加者の行動変容を確認する。併せて、事業に係る費用対効果について検証する。 (1) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業 (次期健康増進事業の在り方検討事業) 27,288千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 埼玉県コバトン健康マイレージ事業（次期健康増進事業の在り方検討事業） 27,288千円 (2) 事業計画 ア データ利活用事業に係るデータ抽出業務 イ 埼玉県コバトン健康マイレージ効果検証等業務 (3) 事業効果 導き出した現行事業の効果検証結果を合理的根拠（エビデンス）として、次期健康増進事業の方向性を検討し、効率的で効果のある健康増進事業を推進する。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	27,288						27,288	27,288
前年額	0						0	